

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	中央大学	整理番号	1-2-008
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	実学理念に基づく高大接続教育の展開		
申請単位	学部単位		
申請担当者	酒井 正三郎		
<p>(取組の概要)</p> <p>本取組は、中央大学における実学の伝統を支えてきた商学部が、「深い教養と情報スキルを身につけ、国際的に活躍できる人材の育成」という新しい実学理念のもとで展開してきた高大接続教育を含む教育課程改革を提案する。本取組は、高大接続教育・入学準備教育・学部教育の 3 つを柱とする。このうち高校生に大学教育を提供する「高大接続教育」には、体験授業を提供する「高大連携」、会計学ゼミ等を提供する「高大接続」、付属校対象に出張講義を行う「高大一貫」の 3 つがある。入学手続者を対象とする「入学準備教育」では、英語・文章作成・数学の基礎力養成のための添削教育や情報リテラシー教育が提供される。「学部教育」では、高大接続教育や入学準備教育との連続性を確保するとともに、商学部の実学理念を身につけた人材を育成すべく、高度なキャリアやスキルを目指す学生に、プログラム科目群やメニュー科目群が提供される。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、中央大学商学部が、「深い教養と情報スキルを身につけ、国際的に活躍できる人材の育成」という新しい実学理念の達成のために、学習意欲が欠けるなどの近年の学生の問題状況に対して 1999 年より実施してきた、高大接続教育を中心とした教育課程の工夫・改善です。</p> <p>高校へのヒアリング調査を広く実施して、高校段階ですでに問題が大きいと認識した同学部では、まず、入学試験合格後の文章力や英語力の育成を目的とした入学準備教育を導入しました。あわせて、同様の問題意識を持つ高校や文部科学省、地方自治体とそれぞれに連携して、多様な接続教育・連携教育・高大一貫教育を開始しました。特に商業高校との高大接続教育は、同学部が優れた実績を誇る会計学教育を柱とする特色性のあるものとなっています。</p> <p>こうした高大接続の工夫・改善は、他の大学、短期大学の参考になり得る優れた事例であるといえます。</p>			